取扱説明書　設置編

業務用　**工事説明付き**

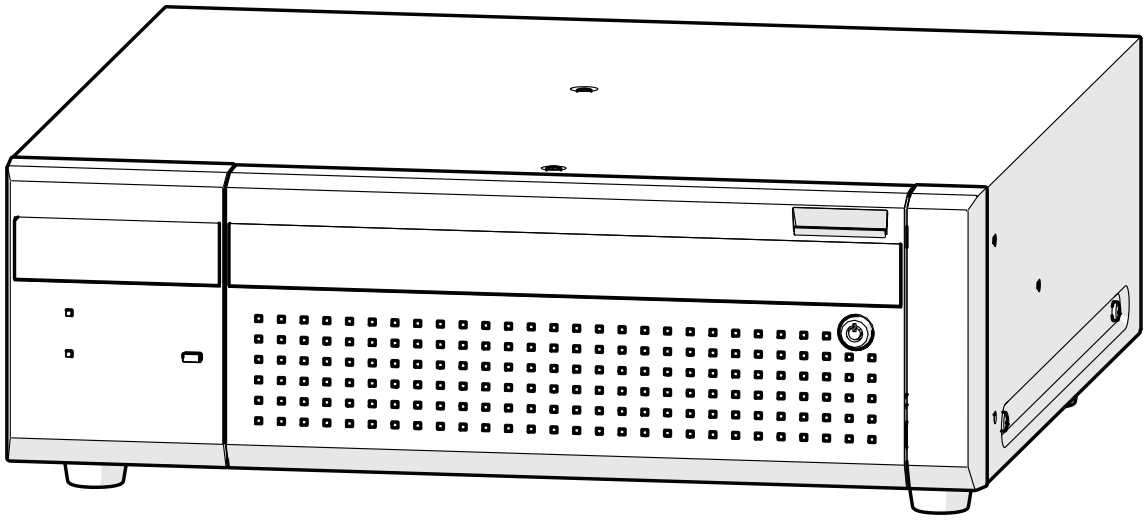
増設ユニット

品番 WJ-HXE410

●取扱説明書の構成について

・設置編（本書）：
必要な機器との接続や設置のしかたについて説明しています。

・基本編：
商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。
以下の弊社サポートウェブサイトに掲載しています。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/documentation-database



このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●ご使用前に「安全上のご注意」（4ページ～5ページ）を必ずお読みください。

もくじ

ご注意

安全上のご注意 4

はじめに

はじめに 6
付属品をご確認ください 6
取扱説明書について 6
シンボルマークについて 6
HDDユニットについて 7
設置上のお願い 7

運用の流れ

運用までの流れ 9
設置の流れ 9
運用について 9

設置

1 ラックへ取り付ける 10
2 接続する 14

起動セットアップ

3 起動する 16
電源を入れる 16
(電源を切るときは) 17
4 HDDユニットを取り付ける 18

その他

故障かな!? 19
保証とアフターサービス 21

取扱説明書　基本編

以下の項目については、弊社サポートウェブサイト掲載の取扱説明書　基本編をお読みください。

はじめに	**・商品概要** **・免責について** **・個人情報の保護について**
ご注意	**・使用上のお願い**
各部の名称	**・各部の名前とはたらき**
HDDユニットについて	**・HDDユニットの取り扱い** **・HDDユニット押さえ金具について** **・本機を輸送するときは** **・本機へHDDユニットを取り付ける** **・本機からHDDユニットを取り外す** **・レコーダーから本機を取り外す**
その他	**・仕様**

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

❗	■ **工事は販売店に依頼する** （工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。） ⇒必ず販売店に依頼してください。
	■ **異常があるときは、すぐ使用をやめる** （煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。） ⇒放置せずに直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。
	■ **電源プラグのほこりなどは定期的にとる** （プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。） ⇒電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	■ **電源プラグは根元まで確実に差し込む** （差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。） ⇒傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
	■ **電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く** （コードが傷つき火災や感電の原因となります。）
⃠ **禁止**	■ **異物を入れない** （水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。） ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
	■ **不安定な場所に置かない** （落下や転倒によるけがや事故の原因となります。）
	■ **電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない** 傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど （傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。） ⇒コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

⚠ 警告

禁止	■ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない** （たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。）
	■ **電源を入れたまま工事、配線をしない** （火災や感電の原因となります。）
	■ **振動や強い衝撃を与えない** （火災や感電の原因となります。）
	■ **湿気やほこりの多い場所に設置しない** （火災や感電の原因となります。）
	■ **可動式電源プラグを有する延長コードは使用しない** プラグ部を繰り返し可動させた場合、可動部内部に隙間が生じ、発煙・火災の原因となります。
分解禁止	■ **分解しない、改造しない** （火災や感電の原因となります。） ⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。
水ぬれ禁止	■ **機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない** （水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。） ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
接触禁止	■ **雷が鳴りだしたら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない（工事時を含む）** （感電の原因となります。）
ぬれ手禁止	■ **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない** （感電の原因となります。）

⚠ 注意

禁止	■ **通風孔をふさがない** （内部に熱がこもり、火災の原因となります。）

警告：

- 本機の設置や保護接地工事はサービス技術者や設置業者によって実施されること。
- 保護接地端子付き電源コードを使用する場合は、保護接地が正しく確実に取り付けられていることを確認すること。

注意：

- 外部施設からの屋外引き込みケーブルが直接接続されているネットワークに、本機を接続しないでください。
- この製品に電力を供給する機器の主電源を遮断できるように、ブレーカーなどの遮断デバイスを必ず設置してください。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

注記：

- この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- 本機は業務用機器です。
- 設置に必要なねじや金具などの情報については本書の該当部分を参照してください。

はじめに

付属品をご確認ください

取扱説明書　設置編（本書）.....1冊
接続ケーブル（1.5 m）.....1本
ケーブルクランプ.....2個
HDD交換時期ラベル※1 .....1枚
電源コードクランプ.....1個
電源コード 1本
鍵.....2本
ラベル※2 .....1枚
ラックマウント金具.....2個
ラックマウント金具取付ねじ（M4 × 8 mm）.....6本
段付きねじ（M5 × 12 mm）.....2本

※1 本機の稼働開始年月を記入し、HDDの定期交換時期(18000時間推奨)の参考にしてください。
※2 天面のラベルと同一品です。ラック取り付け時に見える場所へ貼ってください。

取扱説明書について

本書は、WJ-HXE410（以下、本機あるいは増設ユニット）の設置・接続方法、HDDユニットの取り付けなどについて、別売りのネットワークディスクレコーダー（WJ-NX510K、WJ-NX410K）との構成を例に説明します。お使いのネットワークディスクレコーダーの取扱説明書もあわせてお読みください。

取扱説明書は、設置編（本書）、基本編で構成されています。

- 取扱説明書　設置編（本書）　：必要な機器との接続や設置のしかたについて説明しています。
- 取扱説明書　基本編　：商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。
  以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。
  https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/documentation-database

本機の取扱説明書では、別売りのWJ-NX510K、WJ-NX410Kをレコーダーと呼びます。

製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

シンボルマークについて

本機で使用しているシンボルマークの説明は以下のとおりです。

～	交流電源	品	ネットワークポート
⎓	直流電源		マウス接続ポート
	屋内専用機器		USB端子
	直流電源極性		SIGNAL GND端子
⏻	電源スイッチON/OFF（プッシュ /プッシュ）		

HDDユニットについて

本機は、別売りのハードディスクユニット（HDDユニット）が必要です。

WJ-HDU41MUX	WJ-HDU41NUX	WJ-HDU41QUX	WJ-HDU41SUX
1 TB	2 TB	3 TB	4 TB

WJ-HDU42/2	WJ-HDU42/4	WJ-HDU42/6	WJ-HDU42/8
2 TB	4 TB	6 TB	8 TB

設置上のお願い

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたこと、および現地調達の部品など本機以外の要因により事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。 また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。
本機は屋内専用です。
屋外での使用はできません。長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

以下の場所には設置しないでください

- 直射日光の当たる場所
- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- スピーカーや大きい音を発する装置など、音圧による振動を発生するものの近く
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- 傾斜のある場所
- ほこりがたまりやすい場所
- 水滴や水しぶきがかかる場所

本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください

ゴム製品による硫化について

硫黄を含むゴム製品（パッキンやゴム足など)を本機の近傍や同じ収納ボックス内に設置しないでください。ゴム製品からの硫黄成分により、電気部品や端子などが硫化腐食し、不具合を発生するおそれがあります。

VCCIについて

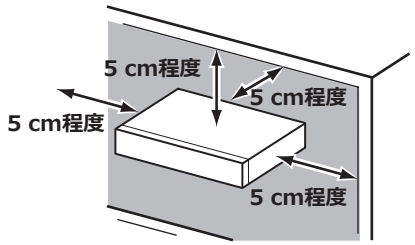
この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

無線障害について

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

横置き（水平）で設置してください

本機は傾けて設置しないでください。また、本機の周囲に5 cm程度の空間を確保してください。

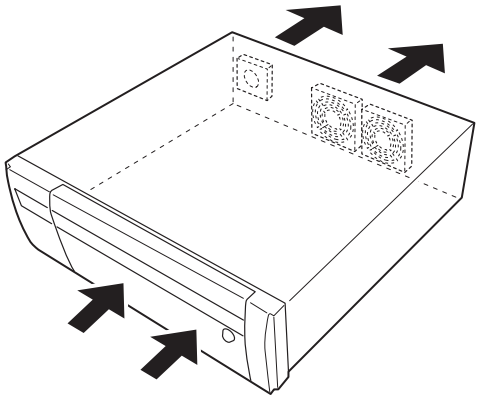


- 本製品を段積みして運用しないでください。
- 本製品の上面に振動を発生させるものをおかないでください。

放熱について

内部に熱がこもると、故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風孔を壁やラック、布などでふさがないでください。ほこりなどで通風孔がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- 放熱ファンは消耗品です。約30000時間を目安に交換してください。交換は販売店（設置工事店）に依頼してください。
- 内部温度が高くなるとファンの音が大きくなることがあります。
- 機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度あけてください。また、前面にある通風孔から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この通風孔をふさがないでください。



雑音源は避けてください

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

使用電源

AC100 V 50 Hz/60 Hzです。消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。また、水滴や水しぶきのかからない場所で使用してください。

※付属の電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

アース（接地）について

電源プラグは、保護接地接続をもつ主電源コンセントに接続してください。

電源について

本機を電源から遮断するときは電源プラグを抜いてください。ACコンセントは本機の近傍に設置し、容易に電源プラグを抜き差しできるようにしてください。設置条件により容易に電源コードを外せないときは、本機の電源プラグを遮断能力のある分電盤のサーキットブレーカーを経由したACコンセントまたは電源制御ユニットなどのコンセントに接続してください。

電源コードの取り付けかた

電源コードは、必ず遮断装置を経由した次のいずれかの方法で接続してください。

- 電源制御ユニットを経由して接続する。
- 容易にアクセス可能な電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを経由して接続する。
- 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

運用までの流れ

- **運用における設定や変更などにはハードディスクの専門知識と経験が必要です。**
- **取扱説明書　基本編を読むためにはPCが必要です。**

設置の流れ

本機を設置の流れは以下のとおりです。

1 **ラックへ取り付ける**
☞ **10ページ**

本機をラックへ取り付けます。
ラックに取り付けない場合は、**2**へ進みます。

↓

2 **接続する**
☞ **14ページ**

本機をレコーダーに接続します。

↓

3 **起動する**
☞ **16ページ**

本機の電源を入れます。
レコーダーの電源を入れる前に必ず、本機の電源を入れてください。

↓

4 **HDD ユニットについて（HDD ユニットを取り付ける）**
☞ **18ページ**

本機の「HDDユニット押さえ金具」を外して、HDDユニットを取り付けます。
外した「HDDユニット押さえ金具」は本機を輸送するときに必要です。お客様で適切に保管してください。

運用について

本機だけでは取り付けたHDDユニットの運用モード設定、初期化等は行えません。接続したレコーダーから設定を行ってください。
詳しくは対応するレコーダーの取扱説明書をお読みください。

1 ラックへ取り付ける

本機を取り付けるラックは、EIA規格相当品をご使用ください。

- EIA規格相当品（他社製）：EIA19型、奥行き550 mm以上のもの
  ユニバーサルピッチのラック を推奨します。
  ワイドピッチのラックの場合、本機の取付は可能ですが、段付きねじによる仮固定ができません。

メモ

- ラックに取り付ける場合は、ラック取付ねじM5×12 mmねじ（4本）が必要です。
- 本機をラックに取り付けてから、HDDユニットを取り付けてください。
- 本ページのイラストは、形状の詳細を省略しています。

STEP1

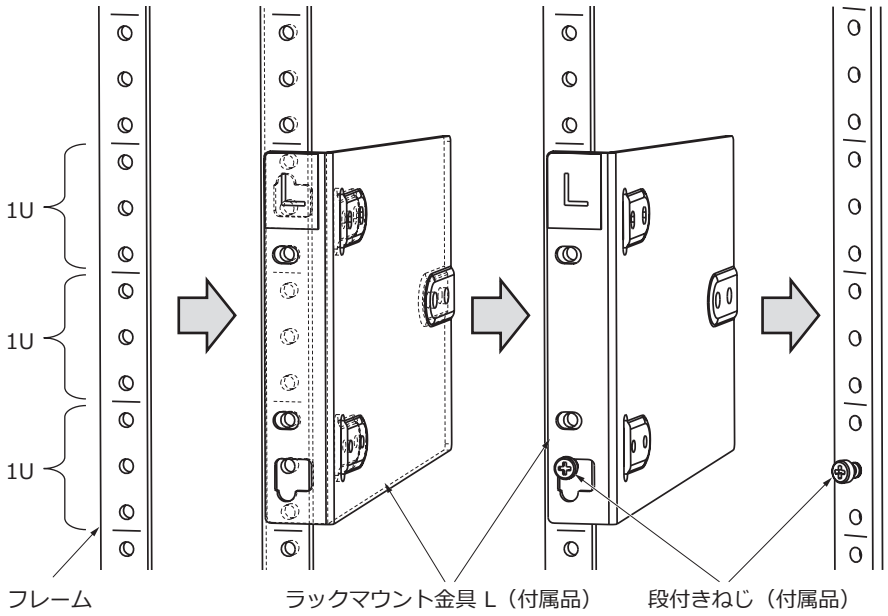
ラックのフレームに段付きねじを取り付けます。

①ラックのフレームにラックマウント金具 L（付属品）を当てて位置を調整して、ねじ穴が 3 つ見える状態にします。

②上から 3 番目のねじ穴に段付きねじ（付属品）を取り付けます。

- ねじ締付トルク
  0.88 N・m～ 1.08 N・m（9 kgf・cm ～ 11 kgf・cm）

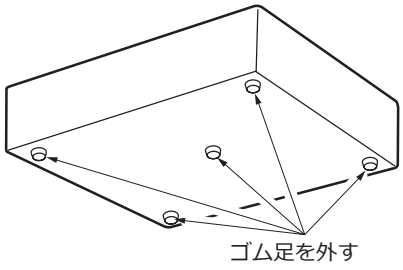
③段付きねじを取り付けたあと、ラックマウント金具を離します。



ラックの右側のフレームにも同様に段付きねじを取り付けます。

STEP2

底面のゴム足（5個）を外します。



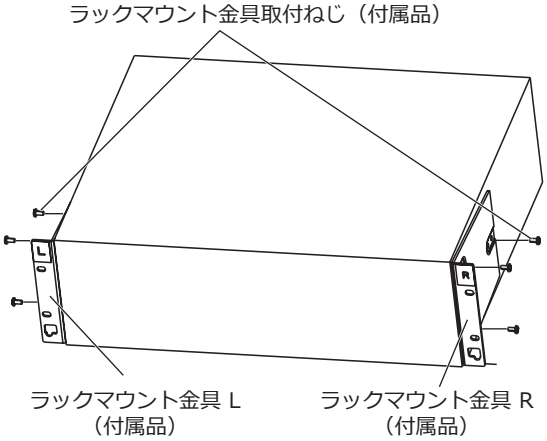
1 ラックへ取り付ける（つづき）

STEP3

本機の両側面に、ラックマウント金具（付属品）を取り付けます。

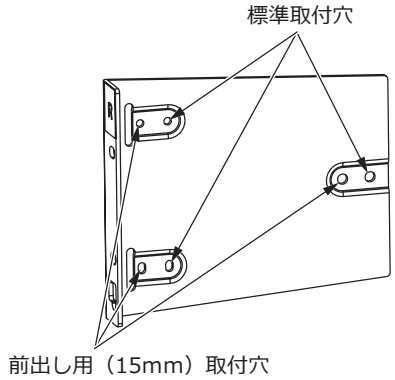
ラックマウント金具取付ねじ 6 本（付属品）で確実に固定します。

- ねじ締付トルク：
  0.88 N･m ～ 1.08 N･m（9 kgf･cm ～ 11 kgf･cm）



メモ

- ラックマウント金具L および R（付属品）には、前面側のラックからの飛び出しを調整するため、2 種類の取付穴があります。設置条件に合わせて使用してください。

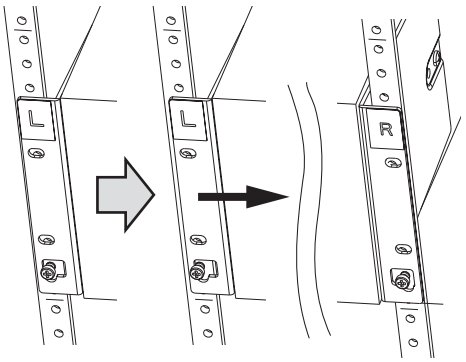


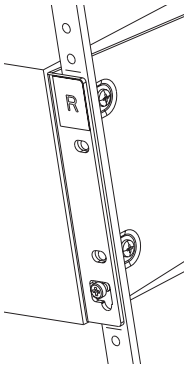
STEP4

本機を段付きねじに引っ掛けます。

本機のラックマウント金具 L（左側）の穴をラックのフレーム（左側）の段付きねじに引っ掛けます。

引っ掛けた状態で本機を右にずらして、ラックマウント金具 R（右側）の穴も同様に段付きねじに引っ掛けます。





重要

ラックマウント金具の穴を段付きねじのねじ頭の内側に引っ掛けて、本機が落ちないようにしてください。

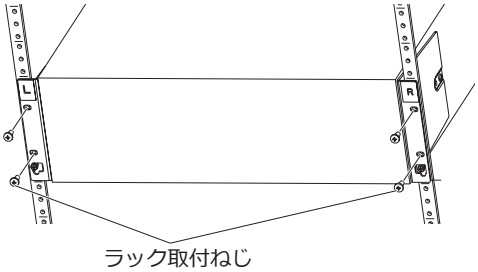
STEP5

本機をラックに取り付けます。

最初に、下側 2 箇所をラック取付ねじ（2 本）で確実に固定します。

次に上側 2 箇所をラック取付ねじ（2 本）で確実に固定します。

- ねじ締付トルク：
  2.0 N･m ～ 2.4 N･m（20.5 kgf･cm ～ 24.5 kgf･cm）



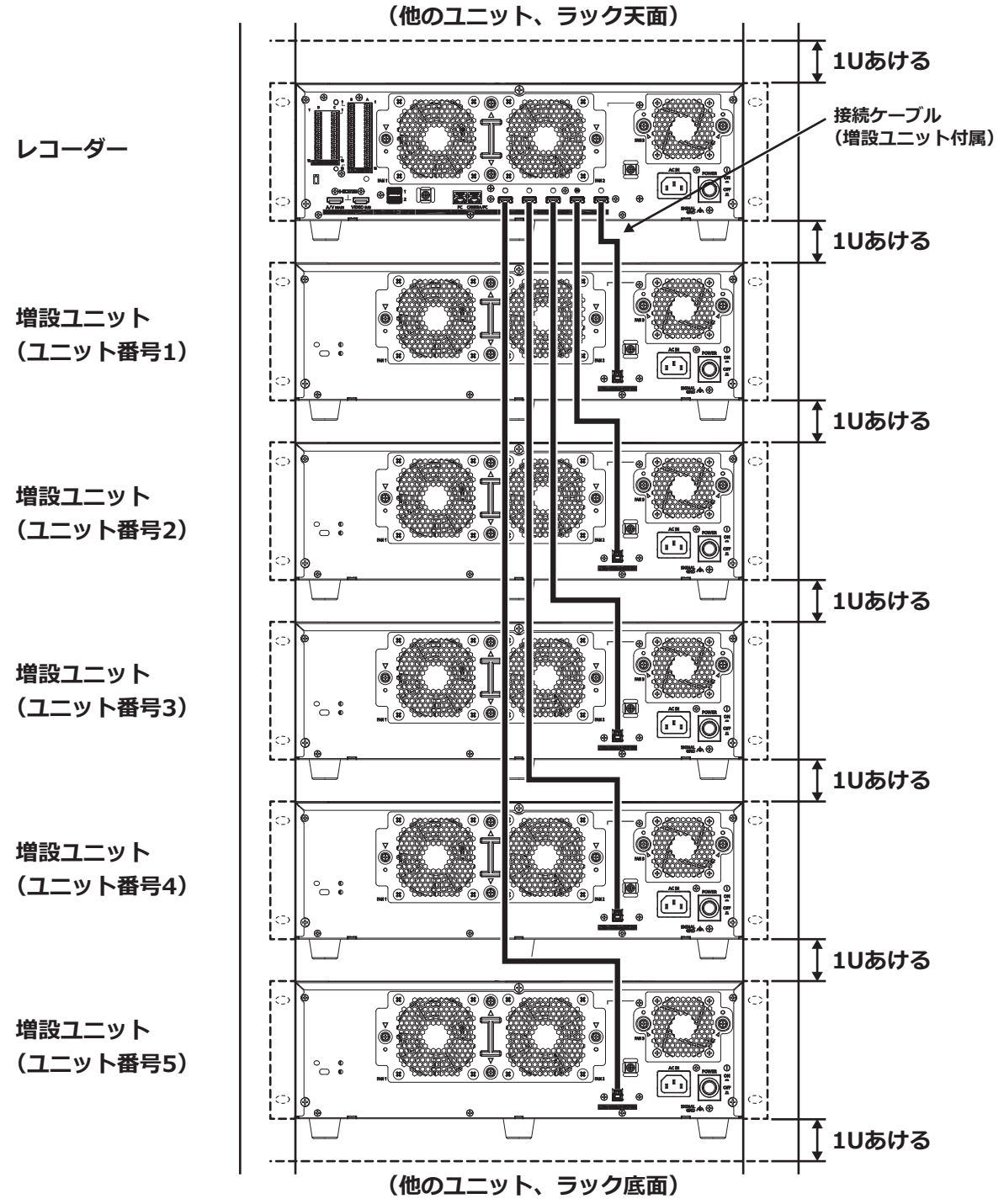
ラック取付ねじ
M5×12 mm（現地調達）

重要

- 本機の使用温度範囲は0 ℃～+45 ℃です。
  ※HDDは温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。+25 ℃程度でのご使用をお勧めします。
- 使用温度範囲内でご使用いただくために、ラック設置時は以下の対策を行ってください。
  ・ファンなどを取り付けてラック内温度を下げる。
  ・本機の上下に1U（44 mm）以上の間隔をあける。
  ・ラック前面に扉をつけない、四方をふさがない。
- 段付きねじは、あくまで施工作業をサポートするねじです。
  本機は、必ずラック取付ねじ（4 本）で確実に固定してください。
  段付きねじだけで本機を固定することは絶対にしないでください。

1 ラックへ取り付ける（つづき）

レコーダーと本機（最大5台）をラックに取り付けた例です。
レコーダーと本機は、本機に付属の接続ケーブル（1.5 m）で接続します。（☞14ページ）

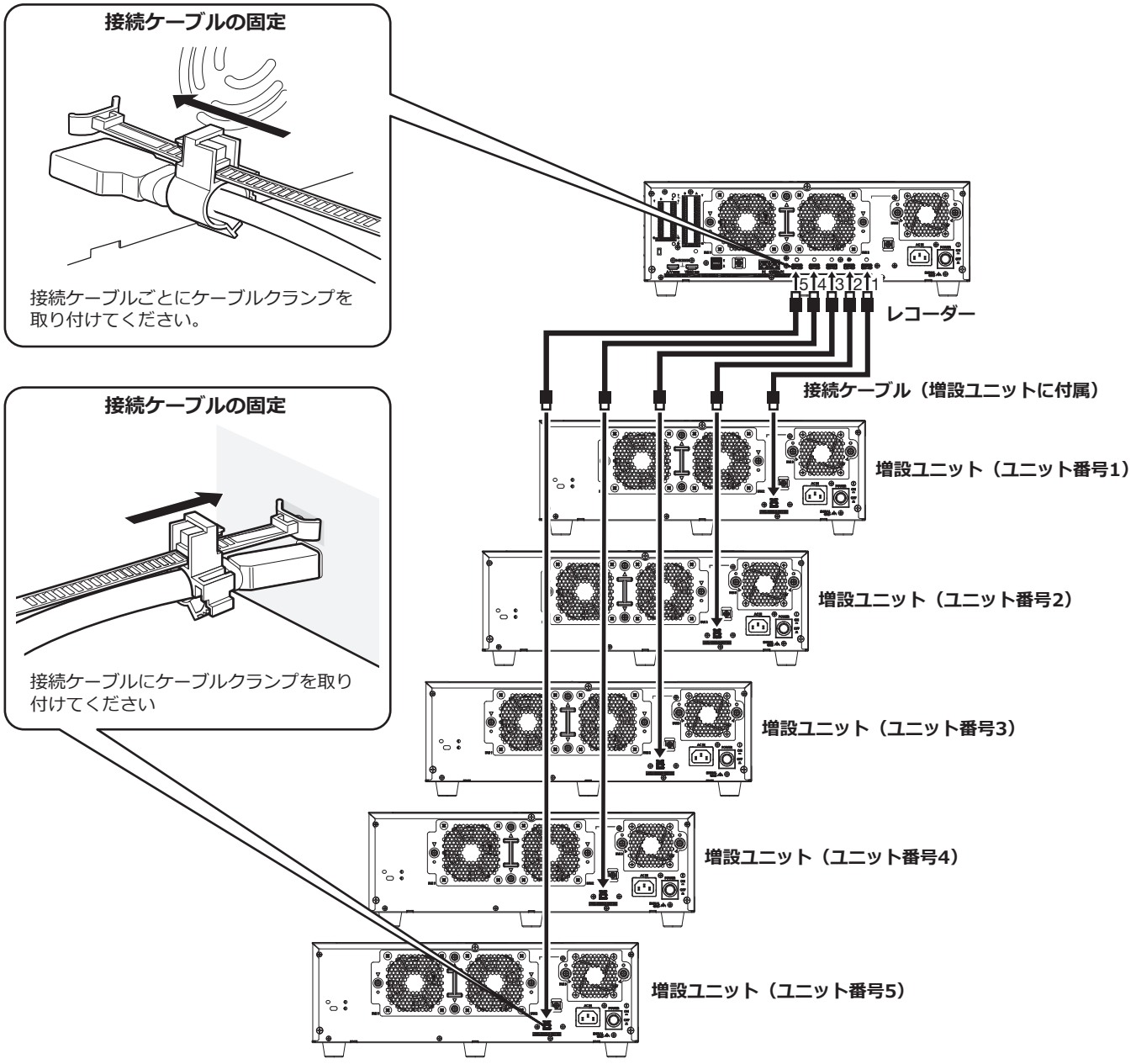


メモ

- 本機をラックに取り付けるときは、上下に1U（44 mm）以上の間隔をあけてください。
- ユニット番号は、レコーダーの増設端子の番号と同じになります。

2接続する

レコーダー 1台に本機を最大5台まで接続できます。本機とレコーダーは、付属の接続ケーブルで接続します。
設置時には付属のケーブルクランプで接続ケーブルが抜けないよう固定してください。



重要

- 接続には、増設ユニットに付属されている接続ケーブルを必ずご使用ください。
  接続ケーブルは、必ず本機に付属のケーブルクランプで固定してください（☞15ページ）。接続が不十分な場合や抜けた場合、システムが不安定になったり、画像が記録できなくなります。
- 接続ケーブルを円状に巻いて束線しないでください。

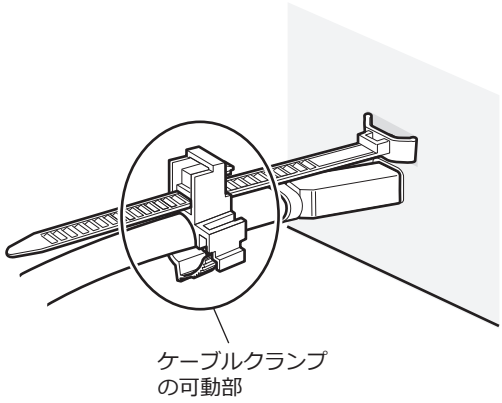
ケーブルクランプの取り付け

接続ケーブルは、付属のケーブルクランプを使って、以下の手順で固定します。

STEP1

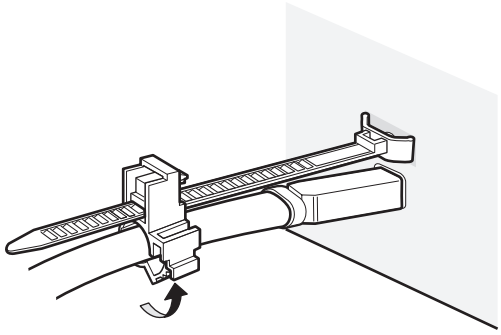
ケーブルクランプ（付属品）を本機裏面の取り付け穴に取り付け、可動部のベルトに接続ケーブルを通します。

- ケーブルクランプを軽く引っ張って本機裏面から抜けないことを確認してください。



STEP2

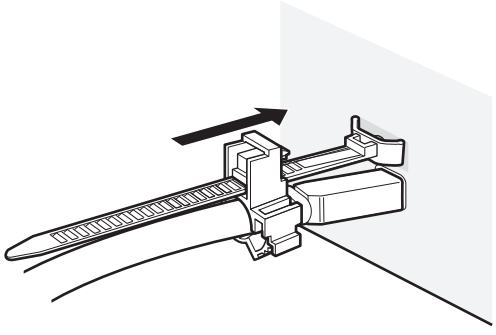
ケーブルクランプの可動部のベルトを最後まで締めます。



STEP3

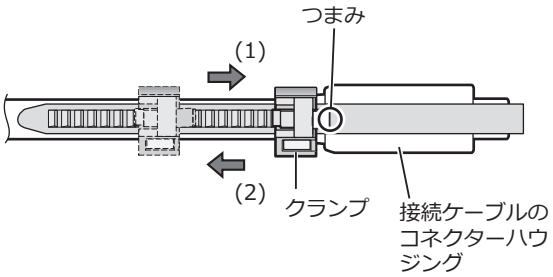
ケーブルクランプの可動部をスライドさせて、接続ケーブルのコネクター部をしっかりと固定します。

- 接続ケーブルが抜けないことを確認してください。



メモ

- ケーブルクランプを上から見た図



- ケーブルクランプの可動部を図の矢印（1）の方向にスライドさせ、コネクターハウジングの根元を押さえます。可動部が根本までスライドしていないと接続ケーブルが抜けてしまいます。
- ケーブルクランプの可動部を図の矢印（2）の方向にスライドさせる場合は、クランプ上部の「つまみ」を押し下げたままスライドしてください。

3起動する

電源を入れる

重要

- すべての増設ユニットに付属の電源コードを接続し、レコーダーの電源を入れる前に、すべての増設ユニットの電源を入れてください。

STEP1

本機の後面パネルの電源端子に付属の電源コードを接続し、電源プラグをAC100 V 50 Hz/60 Hzの電源コンセントに差し込みます。

必ずAC100 V 50 Hz/60 Hzの電源を使用してください。

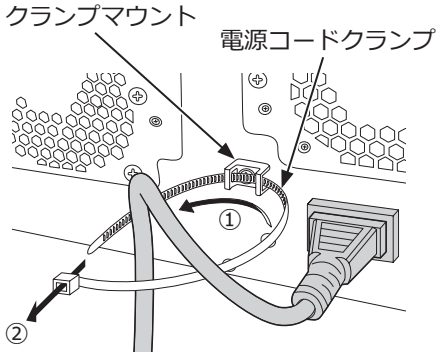
重要

- 電源コードは、緩んだり抜けたりしないよう、電源端子の奥まで確実に差し込んでください。
- 電源コードの抜け防止のため、電源プラグから15 cm ～ 20 cmのところを付属の電源コードクランプで確実に固定してください。

電源コードの抜け防止方法

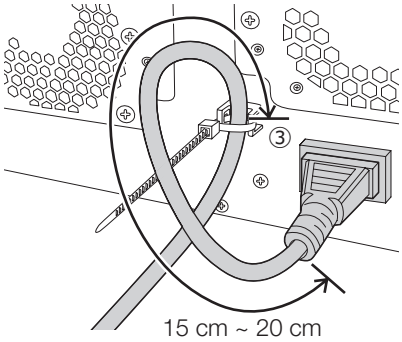
クランプマウントに通した付属の電源コードクランプで、電源コードのコネクタから15 cm ～ 20 cm のところを固定します。

放熱ファン通風孔をふさがないように電源コードを固定してください。



①クランプマウントに電源コードクランプを通します。

②電源コードを締めるため、イラストのように電源コードクランプで輪をつくります。



③電源コードのコネクタから15 cm ～ 20 cmのところを締めてクランプマウントに固定します。

電源コードクランプのあまった部分は必要に応じ切断してください。

STEP2

後面の電源スイッチを押します。

- ［通電］ランプが点灯し、本体･HDDユニットのチェック（システムチェック）を開始します。
- システムチェック中はLCDに「Initializing」と表示されます。
- システムチェックが終了すると、LCDに運用モードと温度が表示されます。

（電源を切るときは）

次の手順で電源を切ってください。
増設ユニットが複数ある場合、切る順番は任意です。

STEP1

レコーダーの録画を停止します。

- 録画中の場合はすべての録画を停止します。
- 再生中の場合は再生を停止します。

STEP2

レコーダーの電源スイッチを切ります。

STEP3

本機の電源スイッチを切ります。

重要

- 接続しているレコーダーの電源を切ってから、本機の電源を切ってください。

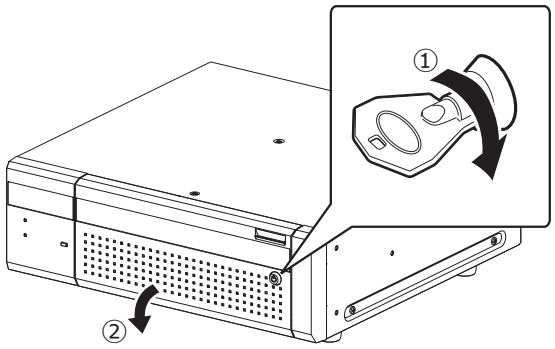
4 HDDユニットを取り付ける

HDDユニットは別売りです。

本ページのイラストは、形状の詳細を省略しています。
本機は、運用中でもHDDユニットを取り付けることができます（RAID1／RAID5／RAID6モード運用時はのぞく）。
運用中に取り付ける場合は、HDDへの衝撃を避けるため、電動ドライバーは使用しないでください。

STEP1

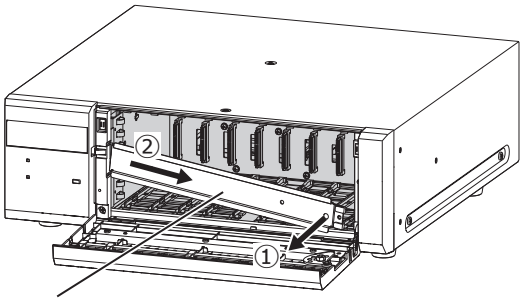
鍵（付属品）を前面カバーの鍵穴に挿入し、軽く押し込んで右に回して、前面カバーを開きます。



STEP2

HDDユニット押さえ金具を取り外します。

①金具固定用ねじを外す。
②HDDユニット押さえ金具を右にずらして外します。



HDDユニット押さえ金具

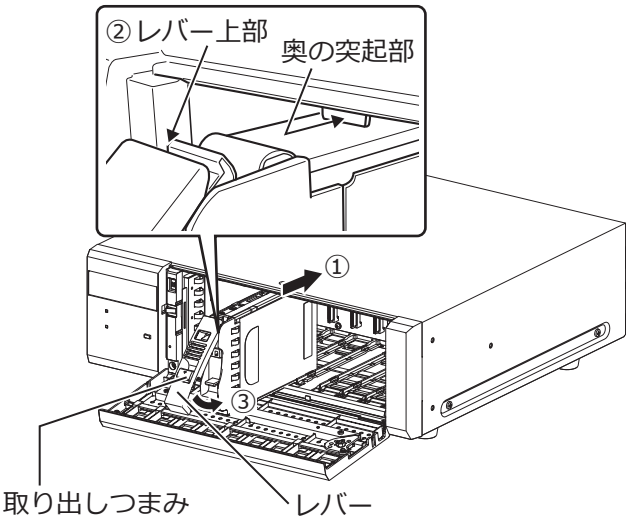
- 外した金具固定用ねじとHDDユニット押さえ金具はお客様で適切に保管してください。

STEP3

HDD挿入口にあるHDD番号を目安に、HDDユニットを本機のディスクスロットに挿入します。

①HDDユニットの取り出しつまみを押し下げながらレバーを引き上げ、ディスクスロットの奥まで確実に挿入します。
HDDに衝撃を与えないよう静かに挿入します（すでに挿入されているHDDユニットにも衝撃を与えないよう挿入してください）。

②レバー上部がディスクスロット上部奥の突起部に当たるまで確実に押し込みながらレバーを下げます。
③レバーを下げると取り出しつまみが「カチッ」とはまります。



重要

- HDDユニットはスロットの1から順に挿入してください。
- HDDユニットを取り付けるとき、レバーで指を挟まないよう注意してください。

④レコーダーのLCDに以下のように表示されます。

```
ＥＸＴｘ－ｙ
ｼﾝｷﾃﾞｨｽｸ　ﾂｲｶ
```

※xはユニット番号、yはスロット番号

STEP4

HDDユニットを初期化します。

初期化については、レコーダーの取扱説明書 設置編を参照してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、以下の弊社サポートウェブサイトのFAQ（よくあるご質問）も参照してください。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/faq

現　　象	原　因　・　対　策	参照ページ
電源が入らない	● 電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか? 接続されているか、確認してください。	–
	● 付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか? 差し込まれているか、確認してください。	16
接続しているレコーダーのメインモニターの画面上に「温度異常」が表示される	● 本機の使用温度範囲は0 ℃～+ 45 ℃です。本機はHDDの内部温度情報を元に「温度異常」を表示します。「温度異常」が表示される場合は、HDD保護のために設置環境を見直し、周囲温度を+ 25 ℃程度とするようお勧めします。「温度異常」が頻繁に表示される場合は、販売店（設置工事店）にご相談ください。	–
	● ファンが故障していないか確認してください。	操作・設定編
	● 本機の通風孔、放熱ファンをふさいでいないか、また、通風孔にほこりがたまっていないか確認してください。	8
本機がレコーダーに認識されない	● 付属の接続ケーブルを使用しているか確認してください。	–
	● 接続ケーブルが緩んでいないか確認してください。	–
	● 本機の電源をレコーダーよりも先に入れましたか？ システムを再起動し、本機の電源を先に入れてください。	16
	● ブレーカーなどで一括に電源を入／切する場合は、同一の電源に接続してください。	–
	● 無停電電源装置（UPS）を使用する場合、同一のUPSに接続してください。	
HDDが認識されない HDDステータスランプが点灯しない	● HDDユニットが確実にディスクスロットの奥まで差し込まれているか確認してください。	–
	● HDDユニットが故障しています。	–
HDDアクセスランプが赤色に点灯または点滅している	● HDDユニットをHDD1、2…、9の順番に取り付けているか確認してください。	–
	● RAID1 ／ RAID5 ／ RAID6モードでHDDユニットが故障しています。 RAID1：故障したHDDユニットのランプが点灯します。 RAID5：最初に故障したHDDユニットのランプは点灯し、2台目は点滅します。 RAID6：最初と2番目に故障したHDDユニットのランプは点灯し、3台目は点滅します。	基本編
RAID1 ／ RAID5 ／ RAID6モードのとき、HDDユニット交換後にデータ復旧できない	● HDDユニットが確実にディスクスロットの奥まで差し込まれているか確認してください。	設置編
	● データを復旧しようとしているHDDが故障しています。	–
	● 交換したHDDユニットの容量が、元のHDDユニットの容量よりも小さくなっていないか確認してください。	–
録画／再生していないのにHDDアクセスランプが点滅（橙色）する	● RAID1 ／ RAID5 ／ RAID6モードでデータの復旧作業を行っていないか確認してください。	–
エラーランプが赤色に点滅している	● システムの故障です。お買い上げの販売店にご相談ください。	–
LCDやシステム情報画面に表示される本機の温度とレコーダーの温度が異なる	● 内部構造が異なる為、同じ環境下でも、表示される温度が異なります。故障ではありません。	–

電源コード・コネクター・電源プラグは、定期的に点検してください。

現　象	原　因　・　対　策	参照ページ
電源コードの被ふくが傷んでいる	● 電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。 そのままの状態で使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。	–
使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い		
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、温かくなったり、ぬるくなったりする		

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　–
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」（☞19～20ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	増設ユニット
●品　番	WJ-HXE410
●故障の状況	**できるだけ具体的に**

i-PRO製品の「保証制度」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/warranty

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店へお問い合わせください。

※「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。
下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に 10 年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。
詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。 ● 電源コード・電源プラグ・AC アダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。 ● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。 ● 電源を入れても、映像や音※が出てこない。 ● その他の異常・故障がある。	故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

※：音声対応していないモデルもあります。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

i-PRO製品の「お問い合わせ」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/contact-us

i-PRO株式会社
https://www.i-pro.com/

© i-PRO Co., Ltd. 2023

PGQX2693XA
Ls1023-2016 Printed in China